



軟式野球チーム ALL GUNNERS 祝賀会

— 祝 高松宮賜杯 2年連続県大会優勝 —

年頭のあいさつ	2
観光交流の促進で地域活性化	3
一般質問（5人登壇）	5
議会報告会	10
請願・陳情・議会のうごき	12
災害復旧が急務	13
町民の声	14



謹賀新年



明けましておめでとうございます。

輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げますとともに、年頭にあたり、町議会を代表しあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、平素より町議会に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

上げます。

昨年は、未だ収束する気配のないロシア・ウクライナ問題等の緊迫した政治情勢により、物価高騰の波が押し寄せ、国内の経済活動に大きな影響を与えました。また、7月豪雨では、最上・庄内地方にこれまで経験したことのない河川氾濫や法面崩落等が発生し、町内においても甚大な被害を受けた方がおります。

町・議会としても引き続き、国県の支援をいただきながら一日も早い復旧に向けて取り組むとともに、物価高騰をはじめとした経済状況にも迅速に対応してまいります。

本年も、議員一同町政の発展に全力で邁進(まいしん)してまいりますので、皆様のさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご多幸とご繁栄を心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

真室川町議会議長 佐藤 一 廣

本年もよろしくお願いいたします



小松健弥 議員 姉崎園子 議員 平野勝澄 議員 小松正弘 議員 舟生源氏 議員
佐藤 正 議員 高橋秀則 議員 佐藤一廣 議長 菅原道雄 副議長 五十嵐久芳 議員

12月定例会

観光交流の促進で地域活性化

～梅里苑周辺を一体的・有効的に活用～

観光交流館設置及び管理に関する条例

12月定例会は、2日から4日までの3日間の会期で開かれ、条例改正、各種会計補正予算など、町長提出案件9議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

姉崎園子議員 指定管理者制度は、建物全体なのか。今、営業している飲食店に支障はないのか。

企画課長 建物一棟を指定管理と考えている。飲食店がテナントとして営業しているが、今までと同様にしている。

高橋秀則議員 指定管理の対象が建物全体だとすれば費用増となるのか。現在施設にテナントとして入っている飲食店にはマイナス影響とはならないのか。

企画課長 指定管理料としては管理する施設が増えるので相応した

費用増となる。また、施設が指定管理になる

とはいえ運営に関してはこれまで同様に町が関わっていくし、テナント料は据え置きと考えている。梅里苑全体の相乗効果に期待をして条例改正に至った。

小松健弥議員 観光交流館という名称にするのは、新たに何かしら交流についての施策を行うのか。

企画課長 梅里苑の指定管理者と施設全体の今後の在り方について検討をする中で、元産直施設であった部分を一体的かつ有効的に活用するために条例改正に至った。

菅原道雄議員 観光交流の場合は必要で、指定

管理者に丸投げでなく、観光の情報発信も必要だ。町として観光・交流についてどういう構想をもっているか。

企画課長 これまで梅里苑は5年間指定管理でやってきたが、町が関与しないわけではなく、様々な施策、新たな取り組みについても打ち合わせ、協議などしながらやってきた。指定管理者の柔軟なアイデアなどいただきながら、より町の施策に合致するもので取り組んでいく。例えば指定管理者のアイデア

として、キャンプ関連商品の販売、宿泊施設の1次会後の2次会の場としての活用、コテージ的な簡易な宿泊部屋を増設するなどの案がある。今後、調整しながら取り組み、情報発信の視点も含め協議していく。

補正予算

◆一般会計

戸籍システム改修委託料

小松健弥議員 戸籍システム改修委託料は、何回も発生する改修なのか。

町民課長 戸籍システムにふり仮名を付与する改修と、付与したふり仮名に間違いがないか本人に確認・通知を行うシステムの改修であり、今後は戸籍届出の際にふり仮名の付与と確認を行うようになる。

放課後児童クラブ委託料

姉崎園子議員 放課後児童クラブ委託料の内

容は。
教育課長 放課後児童クラブの運営を社会福祉協議会に委託している。施設の手すり等の改修や利用者数の見込、

10月の最低賃金改定による人件費調整などによる。

雇用対策費

小松正弘議員 用地及び建物取得奨励金増額の内容と操業奨励金の投下資産は何か伺う。

企画課長 用地及び建物取得奨励金対象企業は2件で、どちらも建物と用地が対象。操業奨励金は1件で、移転に伴い投下した固定資産に対する補助金である。

飼料価格高騰対策補助金

高橋秀則議員 飼料価格高騰対策補助金の対象は。

農林課長 栄養価の高い配合飼料を購入した農家に対する支援で、県と足並みをそろえたものである。

森の停車場施設管理委託料

平野勝澄議員 今までとどう変わってくるか、利用者にとって変化は生じるか説明を。

企画課長 真室川駅・森の停車場を管理する職員を配置しているが、1名退職し、新たに別の方を雇用しようとしたが見当たらず、シルバー人材センターに委託して派遣してもらった。人件費から委託料に替わり、また、トイレ対応をしつかりしてもらうことも含めた委託料となる。利用者にとって変化はない。

消防総務費人件費

菅原道雄議員 人件費高騰、最低賃金もあがつている中での削減だが、団員数が減少したための減額か。
総務課長補佐 消防団員ではなく、総務課危

機管理職員の人件費調整で、人事院勧告、人事異動の調整によるものである。

町長 団員数は定数を満たしておらず、年々減りつつあるのが現状である。

◆介護保険特別会計

高橋秀則議員 人件費調整の減額の理由は。
福祉課長 当初予算で1名分の給与費を計上していたが、人事異動により人員配置が変更になったことから減額したものである。

◆町立真室川病院事業会計

佐藤正議員 個人防護具保管庫整備工事の内容は。
病院事務長 個人防護具を院内さまざまな場所で保管しているが、一括して保管できるように保管庫を整備する

ものである。

◆水道事業会計
小松健弥議員

安楽城第1水源池災害復旧工事の追加補正の内容と今回の補正予算分で復旧工事は完了するのか。

建設課長 今般災害査定を受け、災害要因の除去をする必要があると県からの指導があり、今般の災害において浸水をした約1.5メートルの浸水水位に対応する建物の浸水対策を追加補正として行う。工事は令和7年度中の完了を予定している。



安楽城第1水源池施設

その他の議案

(※議案名は簡略表記しています)

- ◆議会議員の議員報酬等に関する条例改正(人勧に伴う改正)
- ◆特別職の職員の給与に関する条例改正(人勧に伴う改正)
- ◆一般職の職員の給与に関する条例改正(人勧に伴う改正)
- ◆下水道事業会計補正予算

■空き家の利活用について



姉崎 園子 議員

町長

□住宅に対する価値観やニーズは多種多様であり引き続き住宅政策の推進に努める

議員 空き家バンクの周知について。

空き家子育て応援住宅として利用する考えは。

町長 本町における空き家の戸数は167戸であり、そのうち軽微な修繕により利用が可能と思われるAランクの住宅は47戸である。空き家調査は、平成24年6月制定の「真室川町空き家等の適正管理に関する条例」、平成28年3月策定の「真室川町空き家等対策計画」に基づいて毎年実施、実態を調査し、助言、指導、勧告、命令などを行う。併せて、空き家解体助成事業などの補助制度や空き家バンク制度を活用していただき、空き家の適正管理に努めている。
町広報やホームページへの掲載のほか、町

公式ラインやインスタグラムでの専用ページなどのSNS、移住定住イベントなどで行っている。県の新たな取り組みとして空き家活用促進協議会を設立した。最上地域の空き家バンク情報をまとめたポータルサイトの運営や、空き家の掘り起こし、幅広い活用の提案を行う。私有財産に係る事案で対応が難しい部分もあるが、空き家活用促進協議会の支援を受け情報発信に努める。

「子育て応援住宅」は、若者志向のデザインや子育てのしやすい配慮した広い間取りと、オール電化、駐車場・通路の散水消雪などの設備を整備し、かつ低廉な料金で入居できるよう配慮を講じている。できるだけ多くの子育

て世帯の方に享受していただくために一定の入居制限を設けている。子育て応援住宅を退去する際には、転居先として空き家バンクや町営住宅、東町宅地分譲地の紹介を行っている。今後も対応を継続して行く。

その他の質問

◆女性リーダーの育成について

町長 情報共有を図りながら、希望する方が必要とする情報を得られるよう、女性の活躍に必要な支援を行う。



いづがききたい

一般質問

町政を問う

次頁から

「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

(●印は要約して掲載しています)

1. 姉崎 園子 議員……………P5
●空き家の利活用について
2. 佐藤 正 議員……………P6
●バイオマス発電の導入とプロジェクトの考えについて
3. 小松 正弘 議員……………P7
●農業で雇用の確保を
4. 平野 勝澄 議員……………P8
●中央公民館の建設について
5. 小松 健弥 議員……………P9
●「まむろがわ地域包括ケア」の現状と今後の課題は



佐藤 正 議員

町 長

■バイオマス発電の導入とプロジェクトの考えについて

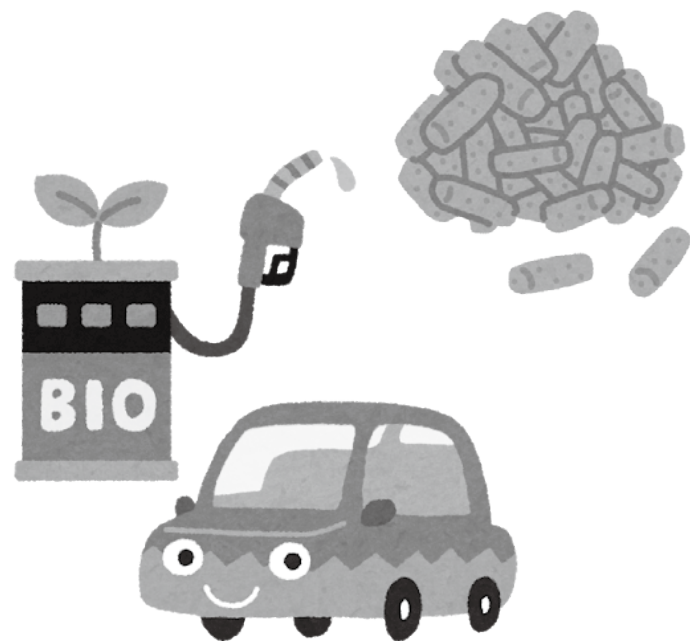
□本町が発電事業者となることは考えていない

議員 広域電力供給を考えると、その地域全体をバイオマス発電で経済の活性化を図ることが、町の発展と人口増加に繋がる。若い人の働く場の確保（企業誘致）のために当町に交付金を使ってバイオマス発電を導入するプロジェクトの考えについて伺う。

町長 木質バイオマス発電は林業副産物を燃料として燃料の加工・乾燥、輸送にコストがかかること、F-T（固定価格買取制度）に

は20年の期限設定があり採算面で検討する必要がある。また発電施設の設置には膨大な事業費がかかるうえ、売電には電気事業者との電線接続経費などのインシヤルコスト、施設の維持管理経費や燃料の調達・貯蔵経費、人件費などのランニングコスト加えて専門知識や豊富な経験をもった人材が必要不可欠である。また県内7か所で民間企業による木質バイオマス発電所が稼働中であるので、本町が

発電事業者となることは考えていない。「森林環境税・やまがた森林ノミクス」の活用方策の進展、東北森林専門職大学の設置により森林業経営の環境も整い雇用の拡大が期待される所なので、今後も引き続き、民間企業の林業事業体と連携しながら、林業振興に努めていく。



■農業で雇用の確保を

町 長

□持続可能な産業として、より一層、各種施策を推進する



小松 正弘 議員

議員 わが町の基幹産業を農業と掲げるならば、とことん取り組んでいただきたく、次の5点について町長に伺う。

- ①これからの真室川町の「農業」の展望。
- ②「雇用できる農家や法人等の強化育成」に対する考え方。
- ③新規就農者への町独自の取り組みと施策。
- ④現在生産されている農産物以外で園芸品目を含めた高収益作物の導入計画と支援。
- ⑤6次産業化への取り組み状況。

町長 ①重要事業として取り組む「ほ場整備事業」により大規模に区画整理と地下暗渠も施されることで、水田と畑地いずれの利用も可能となり、農作業の効率化と省力化が図られ、より収益性の高い作物への取り組みも可能となることで農家所得の増加に期待。販売目標額を1億円以上とする大規模園芸団地化計画を策定し計画達成に取り組まれており、ニラについては、生産量、販売額ともに順調に増加し産地化が図られている。

②収入が3千万円を超える法人が10法人となり、足腰の強い法人が増加してきている。更に、優良な農業法人や農家が增加することを期待する。

③経営開始直後の新規就農者には5年間交付される国からの「経営開始資金」を有効に活用するため、交付申請に必要な「青年等収納計画」の作成を支援。また、町単独補助制度として「元氣な農業創生事業」を設け、新しいチャレンジも応援している。

④本町の「ニラ」は現在の「もがみ中央農協」の主力商品となっている。市場での評価も高く、産地の確立もできており、新たな作物の導入計画はない。むしろ、従事者の高齢化の課題を踏まえ今後の生産量維持に力を入れたい。

⑤町内で生産された小麦を県内の製麺業者に加工を委託し、出来上がった製品を生産者が販売する取り組みが進められている。また、地域おこし協力隊OBによる伝承野菜を素材とした「おはぎ」の販売は、生産者・加工者が得意分野を活かした新しい6次産業の取り組みと考えている。基幹産業である「農業」が、持続可能な産業として、より一層、足腰が強くなるよう、各種施策を推進する。





平野 勝澄 議員

教育長

■中央公民館の建設について

□「地域交流センター」という新たな形態で整備を進める

議員 中央公民館の建て替えが大きな課題となっている。想定通り進むとすれば、ここ数カ月が基本的な方向性をまとめる大事な時期だ。これまでの経緯をもう一度まとめて示していただきたい。

教育長 中央公民館は老朽化が進み、数多い社会教育施設の中でも優先度が最も高かった。大ホールを含めた施設全体の大規模改修を計画したところ、建設資材にアスベストの使用や大ホールが釣り天井

の構造となっていることが判明し、大規模改修の場合は、これらの改修が必須になる。こうした点を考慮し新設することにし、併せて駅前周辺のにぎわい整備として、他の施設を含め補助事業を活用しながら、「地域交流センター」という新たな形態で整備を進めることになった。国土交通省所管の、市街地に施設を集積し日常生活に必要なサービスを住民が身近に享受できる仕組みを構築する「都市

構造再編集集中支援事業」の活用を見込んでいる。駅前地区をそのエリアに設定しており、改築場所は現在の敷地内を見込んでいます。これまで、小中高生をはじめとする住民の皆さんのご意見を参考にしながら、建設基本構想を策定している。「学習」「芸術文化」「交流」「図書」「子育て」の5つの機能が効率よく効果を発揮できるよう、併せてバリアフリーや災害対策にも配慮していく。今はまだ検

討段階だが、①大ホールは座席数を減らし座面や間隔を広くとる、②図書室や学習スペースは拡大、③研修室、和室は広さを調整できる会議室にし、公営塾を移転、④玄関ホールロビー、展示スペースを拡大し、飲食を可能にする交流スペースの確保、資料館との連携による歴史文化の発信や町民発表の場として活用、などを考えている。

今後、検討委員会の意見やパブリックコメントをいただきながら、基本計画に取りまとめ、ていく。



中央公民館玄関ホールの図書スペース

■「まむろがわ地域包括ケア」の現状と今後の課題は

町 長

□地域包括ケア計画に基づき各関係機関と連携しサービス向上に努めていく



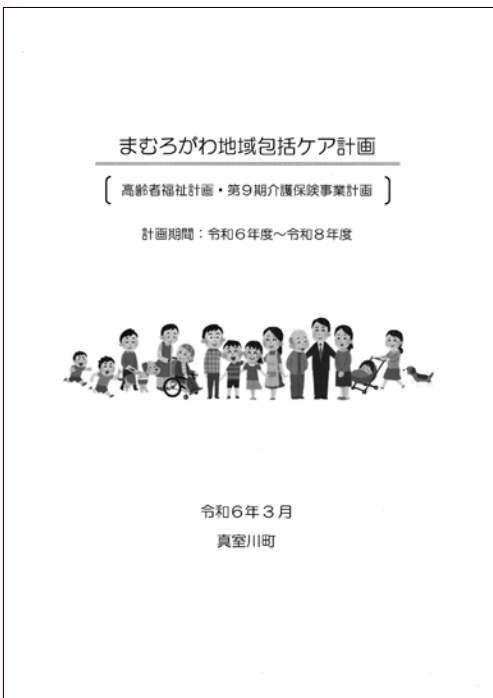
小松 健弥 議員

議員 令和6年3月に「まむろがわ地域包括ケア計画」として高齢者福祉計画並びに第9期介護保険事業が、計画期間令和6年度から令和8年度として明示をされたが、超高齢化社会に入っている現在、大変重要な計画であり、しっかりと実施推進していただきたい。高齢者数の増加、高齢者ひとり暮らし世帯の増加で多様なニーズにお応えをする上での人材確保や多職種連携など今後、も地域の包括的な支援サービス提供体制の維持はできるのか、変化するニーズについて把握する仕組みはあるのかなど今後の取り組みに対し町長の考えを伺う。

町長 地域包括ケア計画に基づき、①「在宅医療・介護の連携強化」、②「認知症になっ

てからも暮らし続けられる地域づくり」、③「地域ケア会議の実施」の3項目について推進している。平成29年度には真室川町立病院内に「訪問看護ステーション新庄サテライト真室川」を設置し、訪問看護を充実させることにより在宅医療を推進している。さらには令和5年度に地域連携室を町立病院内に新設し、

情報共有や連携強化に努めている。このように本町の地域包括ケアは、各関係機関と連携を図りながらサービス提供ができており順調に進んでいる。現時点での課題は、ゴールのない施策であることから各機関とより緊密な連携を模索し、更なるサービス向上に努めていくことと認識している。また、人材確保や育成については、各事



令和6年3月
真室川町

10月15日から24日にかけて、町内8会場において議会報告会を開催しました。参加していただいた皆さまから、議会と町に対する貴重なご意見や様々なご要望をいただきました。今後の議会活動へと反映させていただきます。ありがとうございます。

全てのご意見を掲載したいところですが、紙面の関係上、抜粋・要約してご紹介いたします。「答(町)」は、後日町から回答のあったものです。

開かれた議会に向けて

— 8 会場で議会報告会 —

- 10月15日(火)
 - ・平岡公民館
 - ・川ノ内公民館
- 10月16日(水)
 - ・及位地区農村環境改善センター
 - ・ふれあいセンター安楽城
- 10月18日(金)
 - ・差首鍋地区生涯学習センターまざれや
 - ・中央公民館
- 10月24日(木)
 - ・東町2公民館
 - ・釜淵地区多目的集会施設

防災無線の活用

問 防災無線をもっと活用してほしい。火災情報、議会報告会開催も放送で周知してはどうか。以前、火災による交通規制や雪による

通行止めがあったが、そういう時に周知してほしいかった。

答 防災放送の活用については、我々もいろいろな提言をしてきました。火災情報や臨時的な交通規制等、皆さんから出していただいた内容も含めて、再度要望していきます。また、町では町公式ラインでも様々な情報提供を随時行っています。防災放送では伝えきれない多量の情報も文字で確認できるという利点もありますので、ぜひ登録・活用していただきたい。

豪雨害の避難所開設・運営

問 避難所担当職員に

よって開設されたが、その後の運営の仕方について共有されていない部分もみられ、職員が大変そうだった。地域の協力のもと迅速に対応することが必要だと感じた。

答 避難所では若い人たちが積極的に高齢者の対応に当たっていたようです。体調管理なども含めて円滑な避難・避難所の運営に向けて地域の皆さんの協力をお願いいたします。

地上デジタル放送共聴施設

問 災害時、被害状況などの情報収集にはテレビが大きな役割を果たすが、今の共聴施設が老朽化・故障した場合、テレビ視聴ができなくなり、不安である。対策はないのか。

答 町と議会では、国に対しこれまでも地上デジタル放送難視対策を行った共聴施設の設

備更新が補助対象となるよう制度創設を要望しています。また、有線方式よりもメリットが大きいと思われる無線方式での共聴施設整備に係る補助要件緩和も要望しています。

企業誘致

問 企業誘致の取り組みは進んでいるか。

答 これまでも議会では企業誘致についての考えを伺ってきましたが、流通経路や人材確保など、企業側により良い条件を提示するには、町単独よりも最上地域全体で連携した誘致を行うことが効果的であることから、新庄最上での企業誘致促進協議会と連携して進めていくこととしています。

県道の排水対策

問 7月の豪雨で、山の方から大量の水が流れてきて釜淵3区内の

県道が冠水した。今回の大雨で初めてそういう状況になったが、今後も大雨が増えれば、多くの箇所と同様のことが起こるだろう。県道脇に側溝を設置する等、排水対策について検討してもらいたい。

町道小国西川線

問 現在(10月下旬)も通行止めとなっているが、今後の見通しは。

答 令和5年11月に大規模な土砂崩れにより、広範囲にわたり法面崩落による舗装道路の隆起がみられ、当面の間通行止めとなっている。

答(町) 現在は地すべり災害の認定を受けるための地質調査等を行っている。令和7年度に詳細設計を行い、令和8年度から工事を

行う予定としています。



町道小国西川線の現状

東町宅地分譲地の流雪溝

問 分譲地内の通水状況が悪く水量を増やすと聞いているが、今後の予定は。

答(町) 7月豪雨対応で発注が遅れたため、3月末までに工事完了、令和7年度から通水予定としております。

豪雨災害対応

問 災害対応で、個人が頼めるような小さな業者がなく、業者を探るのが大変だ。高齢化もあり自己対応は難しい。降雪前に復旧

できるのか心配している。

・土砂崩れで、山や小国川の景観が変わってしまった。砂防堰堤も埋まり、川の水位も上がっているため、土砂を取ってもらいたい。

・決壊した堤防や水源池などの被災箇所は、工事まで時間がかかると思うが、今のままで、また大雨の時に同様の被害にならないか心配だ。

答 被災箇所の復旧については、私たちも要望していますが、業者も足りないためなかなか

か進まない状況です。もう少し時間をいただきたい。

答(町) 農業関係の小災害補助金については、1件当たり40万円を限度に全額補助を行っており、農地内の流木処理も補助対象としています。

4月30日までを申請期限としていますが、今年度中に復旧できない場合は、あらかじめ農林課にご相談ください。

なお、県の動向により申請期限が変動する場合は、改めて周知します。

有害獣対策

問 クマのほかにシカ、サル、イノシシなどが多種にわたり発生し、農作物に被害がでている。今後の対策は。

答 出没・被害状況については担当課に連絡していただきたい。

答(町) ワナの設置は鳥獣被害対策実施隊が行っています。その他の補助事業として、電気柵や忌避剤の購入に1/2助成を行っています。電気柵の補助は平成28年度から実施しており、経営農家に限定していましたが、令和4年度から家庭菜園にも拡大しています。



地区内防犯灯の維持管理

問 町内の防犯灯のLED化により、電気料の節約につながり、ありがたいと感じている。設置後の管理は地区で行うことを前提に設置していただいたが、経年劣化により修繕する際、1灯あたり4〜5万円と高額なため、地区にとって負担になっ

ている。他の地区も同様に実態を調査し、計画的な修繕をお願いしたい。

答(町) LED防犯灯は寿命が長く電気料も節約できることから、平成27〜29年に町が既存のものからLEDに更新し、地区の負担軽減を図りました。修繕等の維持管理については、計画的な積み立てや企画課所管の地域づくり活動支援補助金の活用などで対応いただくようお願いいたします。

空き家の解体手続き

問 建物の所有者と土地の所有者が異なる場合、解体にあたって土地の所有者の印鑑が必要で、なかなか解体できないケースがあると聞いた。所有物の解体に関して土地の所有者は関係ないのではないのか。

答(町) 住宅を取り壊

県道が冠水した。今回の大雨で初めてそういう状況になったが、今後も大雨が増えれば、多くの箇所と同様のことが起こるだろう。県道脇に側溝を設置する等、排水対策について検討してもらいたい。

答(町) 大雨の際に現地を確認し、県に要望しました。

町道小国西川線

問 現在(10月下旬)も通行止めとなっているが、今後の見通しは。

答 令和5年11月に大規模な土砂崩れにより、広範囲にわたり法面崩落による舗装道路の隆起がみられ、当面の間通行止めとなっている。

答(町) 現在は地すべり災害の認定を受けるための地質調査等を行っている。令和7年度に詳細設計を行い、令和8年度から工事を

して更地になると、土地の固定資産税の軽減が受けられなくなるため、土地所有者の同意書を求めています。

ワクチン接種

問 新型コロナウイルスの予約が電話では受け付けないといわれた。地理的に遠距離であるため、もっと簡素化できないのか。

答(町) 診察に万全を期すため、新型コロナウイルスに限らず、電話のみでの予約は行っておりません。新型コロナウイルスの接種予約については、予約票や保険証などを確認しながら必要事項を記載していただいた後に予約票をお渡しします。



問 鮭延城跡周辺の草刈りを地区で受託し毎年行っているが、今回の豪雨でがけが崩れてしまい、さらに崩れる箇所もあるのではないかと危険を感じている。担当課から今後どうするかも示されていないが、草刈りを行うメンバーも高齢化で人探しに苦労している。業者に依頼できないか。

ちの意見を聞く機会を設けてもらいたい。

答 鮭延城跡については、議員としても町の歴史・観光資源として活かしてはどうかと町へ提案してきた経過があります。今後災害復旧工事もありますし、これから町でも方向性等を検討すると思われますが、今後の課題だと認識していますので我々からも要望していきます。なお、人集め等、草刈りの苦労については、我々も伝えませんが、区長さんからも担当課に伝えていたのだと思います。



歴史研究会の会員としての意見です。これまで観光資源として観光ボランティア等を行ってきたが、今回の災害で様相が大きく変化してしまい、これからどうすればいいのか、どう直していけばいいのか、全く分からない。城跡の説明すらできない状況になっている。町としてこれからどうするか大事だし、まず現場を見て、自分た

請願

案件がありませんでした。

陳情

●臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

【提出者】

一般社団法人 中国における臓器移植を考える会

代表 丸山 治章

※議員へ配布のみ

●国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出についての陳情

【提出者】

沖縄に応答する会

※議員へ配布のみ

代表 漆山ひとみ



議会のうごき

令和6年10月～令和7年1月

- 10月25日(金) 県町村議会議員研修会
- 26日(土) 町表彰式・町民各賞受賞を祝う会
- 31日(木) 「最上を拓く高規格道路」建設促進大会
- 11月2日(土) 「最上川さくら回廊事業」植樹式典
- 3日(日) 真室川駅開業120周年感謝祭・第24回真室川町大収穫祭
- 7日(木) 県町村議会議長会正副会長会議
- 9日(土) 2024ALL GUNNERS祝賀会
- 10日(日) 町婦人芸能祭
- 13日(水) 町村議会議長全国大会
- 14日(木) 町村議会議長行財政セミナー
- 15日(金)～16日(土) 最上地域ふるさと連合会総会
- 21日(木) 県町村議会議長会正副会長・理事会合同会議
- 24日(日) ふるさと子ども伝承祭
- 25日(月) 町議会運営委員会、同全員協議会
町畜産共進会、最上県懇話会
- 29日(金) 真中生ふるさと学習発表会
- 12月2日(月)～4日(水) 町議会第4回定例会
- 17日(火) 最上地方町村議会議長会臨時総会、自治振興研修会
- 18日(水) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会
- 19日(木) 新庄酒田・新庄湯沢道路期成同盟会合同要望活動
最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会
- 24日(火) 最上地区広域連合議会定例会、意見交換会
- 26日(木) 最上広域市町村圏事務組合議会定例会、
市町村長・議会議長意見交換会
- 1月8日(水) 県町村議会議長会正副会長・理事会合同会議
- 10日(金) もがみ地域経済3団体共催事業新年賀詞交歓会
- 16日(木) 町経営者懇談会新年祝賀会

○議会広報常任委員会の開催 (12/17、12/25、1/9、1/15)

10月臨時会

会期：10月24日

補正予算

10月臨時会は、10月24日の1日間の会期で開かれ、町長から提出された一般会計補正予算1議案を慎重に審議し、原案のとおり可決されました。

◆一般会計

被災中小企業支援補助金

小松健弥議員 被災中小企業に対し県補助に町独自に上乗せ補助を行うとのことだが、被災状況は。

企画課長 商工会による被災直後の訪問調査によると、被災されたのは27件、保険等で対応できる事業者を除く県補助対象の事業者は10件程度と把握している。

宮沢地区地域防災がけ崩れ対策工事委託料

高橋秀則議員 宮沢地区地域防災がけ崩れ対策工事についてだが、

どのような工法で行うのか。今後同様の災害が発生しないよう対策範囲を拡大し、しっかりとした工事を行うのか。

また、住宅周辺で公園敷地内にある支障木に対してどう対応しているのか。

建設課長 工事の工法

については、地質調査後の測量設計の段階で決定する。対策工事の範囲については、今回崩落した高さ8・5メートル幅22メートルが対象である。また、住宅周辺公園敷地内の支障木に対しては別途予算化をし、伐採等の対策を行う計画である。

菅原道雄議員 宮沢地区地域防災がけ崩れ対策について、今後同様

の災害を防止するためには、今回しっかりとした工事を行う必要があると考えるが、地質調査次第では工法が変わり予算も変更があるということがある。

建設課長 今回の予算

計上は、工事経費が最大となる法枠工法での対策を考えている。地質調査後の検討の中で災害要因を排除し、充分な対策を行うために工事範囲が拡大するなどの場合には予算変動の可能性はあるが、現段階では今予算で充分であると考えている。

路線バス運行委託料

姉崎園子議員 路線バス委託料の内容は。

町民課長 豪雨災害により、運転見合わせとなっているJR奥羽本線（真室川駅～及位駅）に代わりJRの代行バス（新庄真室川

線）への接続するために及位・真室川線を朝と夕に1便を増設、地域の皆様にご不便をかけないように日曜日の運行も含めての補正である。

小松健弥議員 来年度

までに運行再開予定のJR奥羽本線に対し、その時期までは現在と同様の路線バス運行を行うのか。

町民課長 JRの代行バスに対し令和7年度も同様に対応する予定である。



災害復旧が急務

～ 9,000万円超の災害対策費用補正～

町内の若者が今頑張っております！

ALL GUNNERS監督 川又 稔さん(新田平岡)

息子世代が2017年から始めた野球チームが、今では県大会2連覇をする程の実力をつけ、私も何かできないかと、3年前から監督としてチームに加わっております。

当時スポ少の監督として教えていた子どもたちが大きく成長し、夢物語で将来の話をして、「今後部活動が地域移行となっていく中で、うちのチームでクラブとして受け入れたら将来自分の子どもも困らないね」などと盛り上がったり、正直まだまだ簡単に物事を考えてるなとは思いますが、しかし、このようなことを考えている人や団体は他にあるのでしょうか。若者のチャレンジするきっかけを大人たちがサポートしていかなくてはならないと思っております。

時代が変わり、我々が20代の頃とは真室川町も大きく変わりました。また、当時のように活気のある町にするには、若者の力は不可欠です。これからも未来ある若者たちが様々なことに挑戦できるよう、私にできることがあれば協力していきたいと思っております。

傍聴お待ちしております

● 次回の
定例会は

3月です

議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>


お問い合わせは

議会事務局まで
☎62-2220 (直通)

議会広報常任委員会

委員長	小松健弥
副委員長	舟生源氏
委員	姉崎園子
委員	小松正弘
委員	平野勝澄

新年あけましておめでとうございます。昨年は、半世紀ぶりとなる大規模な水害が発生しました。臨時議会では災害復旧予算の審議を活発に行い、一日も早い原状復帰を議員一丸となって取り組んできました。一方、町へ長年働きかけてきた学校給食の完全無償化実施やキャンプ場開設など明るい話題もありました。特にキャンプ場は盛況であり、町内の交流人口も増加傾向です。

これからも、町民の皆様全員が安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組んでまいり所存です。どんなことでも構いません。ご意見をどしどしお寄せください。結びに、町民の皆様にとって最良の年になりますよう心よりお祈り申し上げます。(小松正弘)

編集を終えて